

第3回

国立大学法人
名古屋工業大学

設備サポートセンター整備事業シンポジウム

共同利用に向かう 教育研究設備の 今後の展望を探る ～求められる設備マネジメントとは～

参加無料

日時／平成29年1月26日 木
12:30～18:00

場所／名古屋工業大学 4号館1階 ホール

【アクセス】名古屋駅→(JR 約10分)→鶴舞駅→(徒歩 約10分)→名古屋工業大学

- ※1月26日(木) 10:00～情報交換会終了時迄 ポスター掲示
- ※1月26日(木) 18:00～ 同会場にて情報交換会
- ※1月27日(金) 11:00～12:00 希望者による名古屋工業大学施設見学会

※シンポジウム、情報交換会及び施設見学会への参加は、WEBまたはFAXにて1月10日(火)までに申し込みください。URL: <http://irc.web.nitech.ac.jp/sympo/index.html>

文部科学省「設備サポートセンター整備事業」の採択を受け、教育研究設備の共同利用体制構築に積極的に取り組む全国各地の大学が一同に会し、「設備共用」に関する課題を解決するための情報交換・情報共有、そして発展に資する提言を行います。

プログラム

開会の辞 12:30～

名古屋工業大学 学長 鶴飼 裕之

ポスタープレビュー 12:40～

平成28年度採択校
北海道大学／群馬大学／岡山大学

基調講演 12:50～

『共同利用・共同研究体制の強化・充実と設備サポートセンター整備事業等について』
講演者 文部科学省研究振興局学術機関課

ポスターセッション 13:20～

北海道大学／東北大学／千葉大学／筑波大学／群馬大学／
東京農工大学／大阪大学／金沢大学／神戸大学／鳥取大学／
岡山大学／広島大学／高知大学／九州大学／名古屋工業大学

企業講演 15:10～

『大学の装置利用で得られた成果とこれからの期待』

講演者 東亜合成株式会社 執行役員 R&D総合センター長 高橋 伸様

パネルディスカッション 15:40～

『今後の設備共用化戦略を語る』

a) 事例紹介 広島大学／高知大学／名古屋工業大学

b) パネリストによる意見交換

パネリスト

文部科学省研究振興局学術機関課／広島大学／高知大学／名古屋工業大学
ファシリテーター

北海道大学 グローバルファシリティーセンター 副センター長／
URAステーション 主任URA 江端 新吾様

閉会の辞 17:55～

名古屋工業大学 理事・副学長 木下 隆利

主催：名古屋工業大学 TEL：052-735-5188 FAX：052-735-7117
URL：<http://irc.web.nitech.ac.jp/> Email：oogata-sympo@lab-ml.web.nitech.ac.jp